

2015年3月期中間期(2014年9月期) 中間決算説明資料

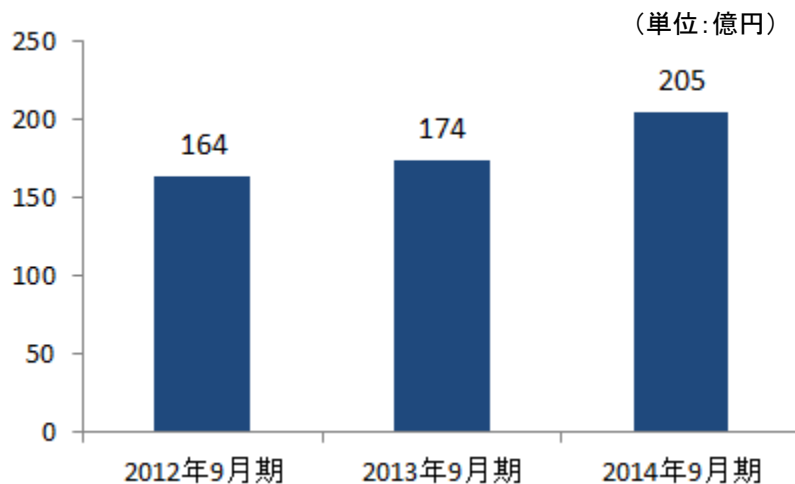
2014年 11月21日

オリックス銀行

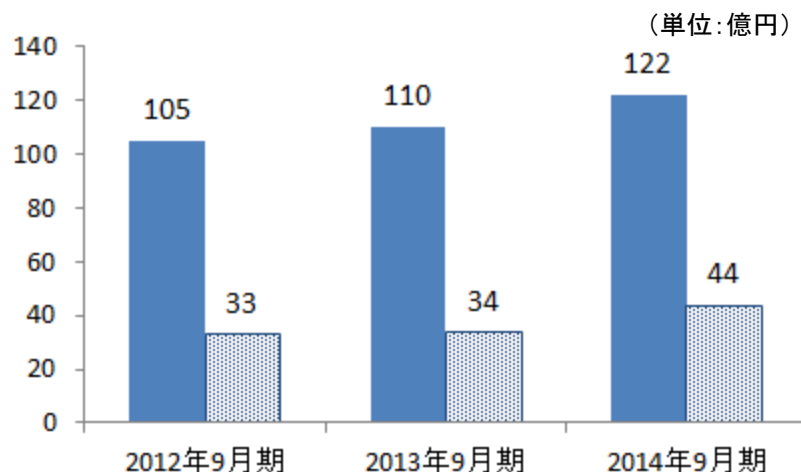
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、表示しています。

2015年3月期中間期 業績ハイライト

経常収益



業務粗利益・中間純利益



中間純利益として過去最高

- 資金運用収支は順調に増加。
- カードローン事業の積極的な広告宣伝活動により営業経費は増加。
- 貸倒引当金の戻し入れ益が増加。

(単位: 億円)

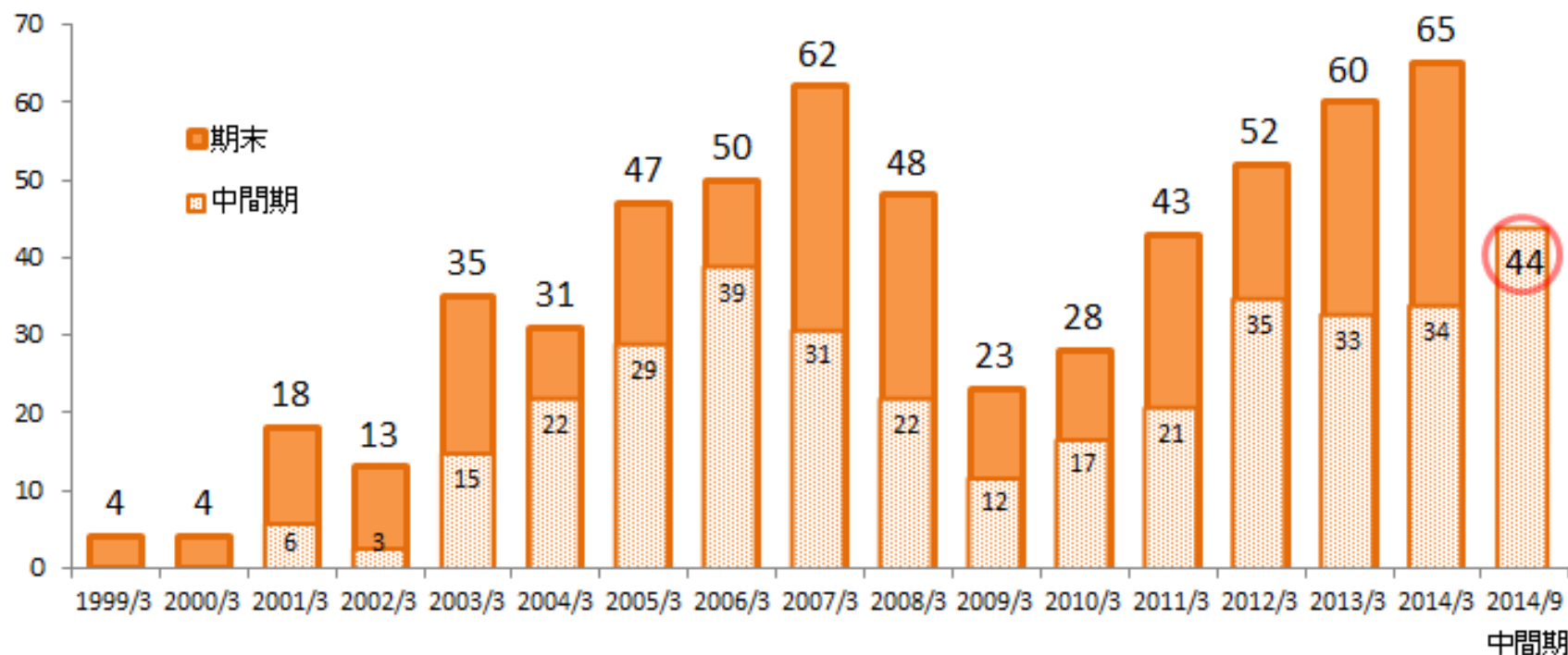
	2012年 9月期	2013年 9月期	2014年 9月期	前年同期比	
				増減額	増減率
経常収益	164	174	205	30	17%
業務粗利益	105	110	122	11	10%
信託報酬	3	2	2	0	△ 13%
資金運用収支	111	120	138	17	15%
役務取引等収支	△ 11	△ 16	△ 19	△ 2	18%
その他業務収支	2	5	1	△ 3	△ 62%
営業経費	58	69	84	14	21%
経常利益	54	57	69	12	22%
中間純利益	33	34	44	9	27%
与信関連費用	2	△ 2	△ 16	△ 13	-

	2013年 9月末	2014年 3月末	2014年 9月末	前期末比	
				増減額	増減率
貸出金	9,926	10,653	11,168	514	4.8%
預金残高 (譲渡性預金含む)	11,105	12,073	12,190	117	0.9%
純資産	1,241	1,275	1,322	47	3.6%
総資産	13,538	14,577	15,335	757	5.1%

当期純利益の推移

- 中間純利益としては過去最高の44億円。

(単位:億円)

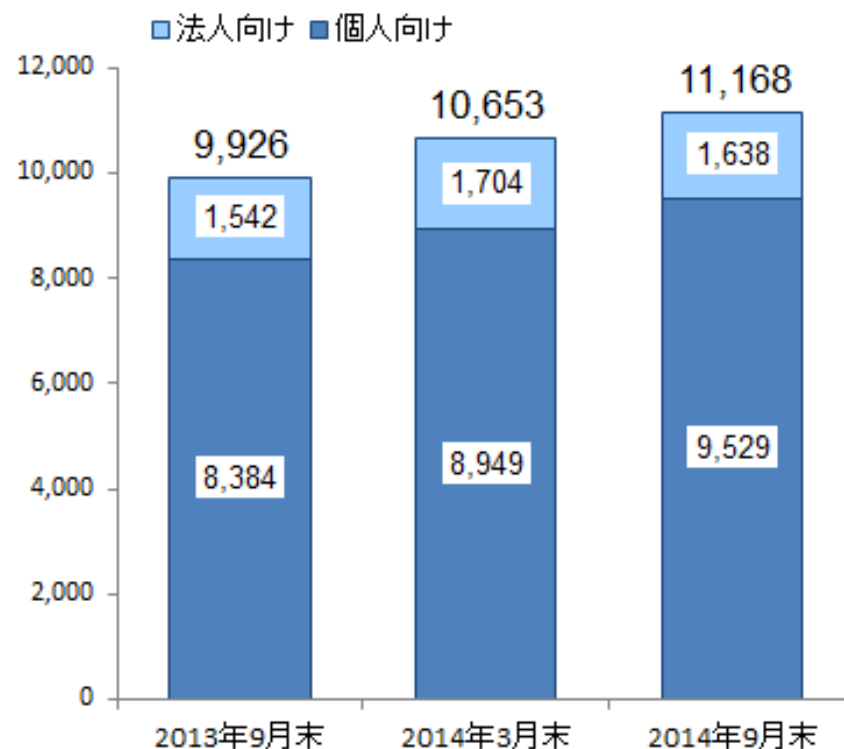


貸出金の状況

貸出金残高

(単位: 億円)

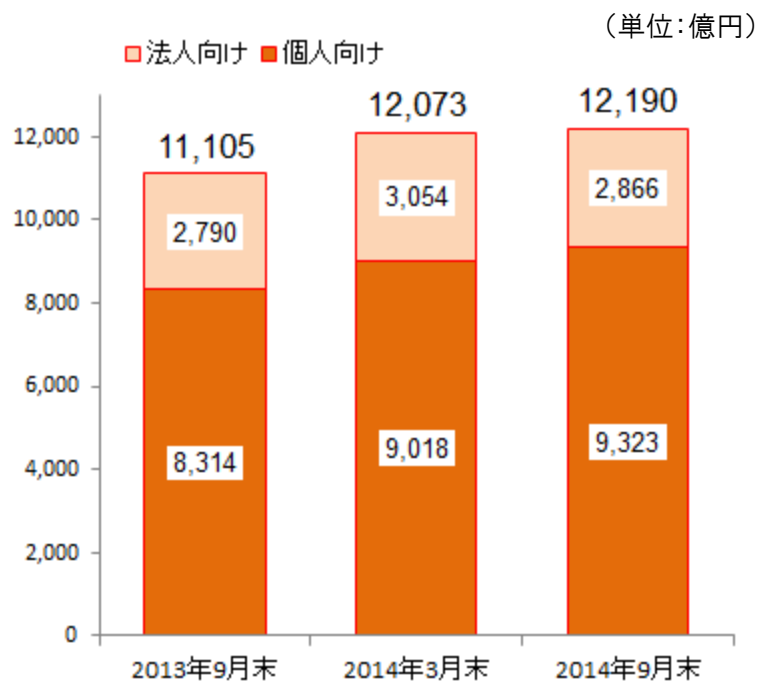
- 主力の不動産投資ローンは、消費増税の反動減による影響も一部見受けられたものの回復し、順調に残高を積み上げ。
- カードローンは積極的な広告宣伝活動により残高増加を推進。
- 法人融資は、他金融機関との競争激化が続く中、残高は微減。



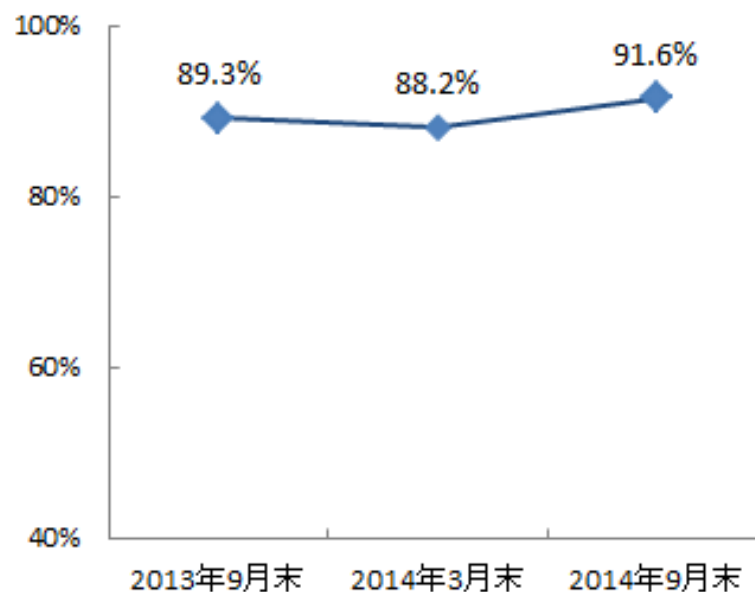
預金の状況

- 個人預金が順調に増加
- 個人預金・法人預金のバランスを意識した調達
- 流動性の確保に留意しつつ、高い預貸率を維持

預金残高



預貸率



信託財産と信託報酬

- 流動化市場の低迷や受託競争の激化は継続しているものの、新規受託および「eダイレクト金銭信託」の順調な販売により、残高は微増。

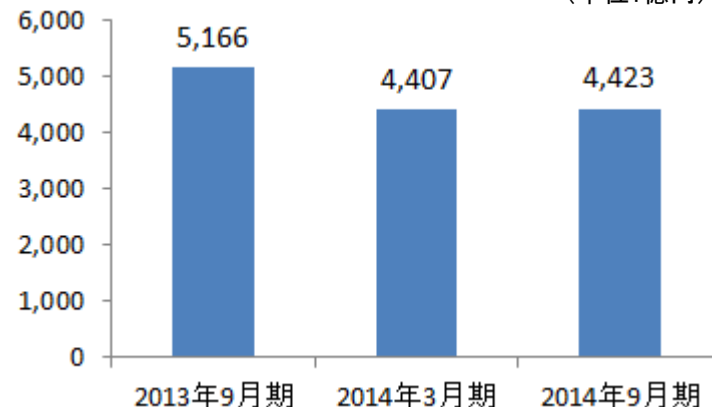
■ 信託財産残高表

(単位: 億円)

	2013年9月期	2014年3月期	2014年9月期	前期末比
貸出金	394	286	324	38
有価証券	597	482	456	-26
信託受益権	585	94	89	-4
受託有価証券	199	28	28	-
金銭債権	1,790	1,950	1,846	-104
有形固定資産	1,140	1,118	1,366	248
その他債権	14	12	12	0
銀行勘定貸	9	8	10	2
現金預け金	434	426	287	-138
資産合計	5,166	4,407	4,423	15
指定金銭信託(合同金信)	215	120	272	151
特定金銭信託	68	62	64	2
金銭信託以外の金銭の信託	893	751	566	-185
有価証券の信託	199	28	28	0
金銭債権の信託	22	22	21	-1
包括信託	3,765	3,422	3,470	48
負債合計	5,166	4,407	4,423	15

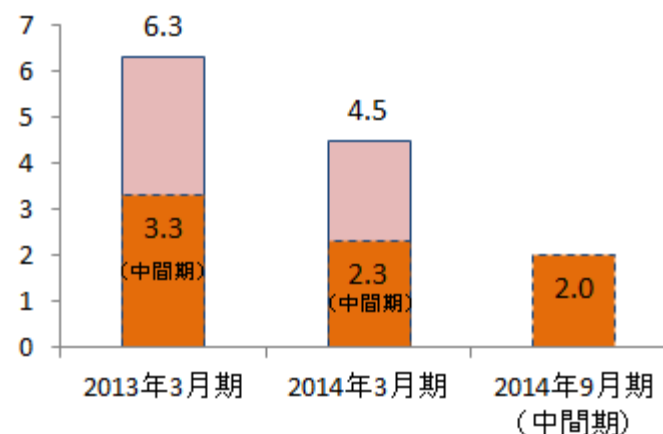
■ 信託財産

(単位: 億円)



■ 信託報酬

(単位: 億円)

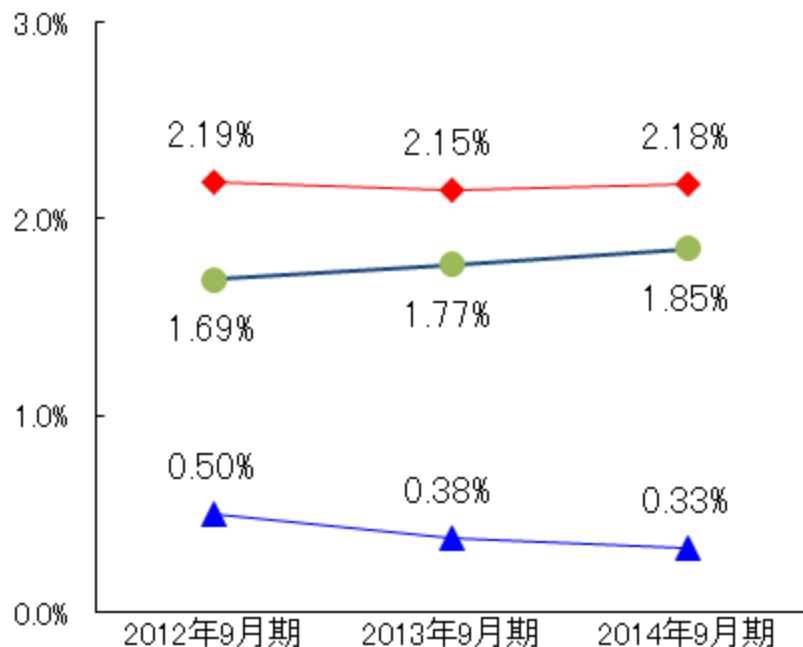


資金粗利鞘・利回りと資金運用収支

- 運用利回りはカードローン残高の積み上げにより上昇。調達利回りは低下したため、資金粗利鞘は改善。
- 加えて貸出金残高の増加により、資金運用収支は増加。

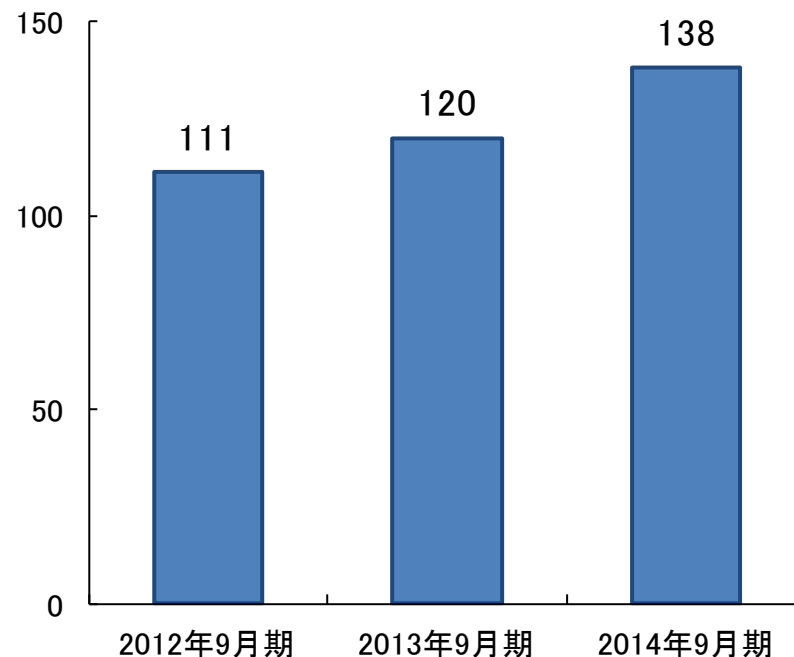
資金粗利鞘・利回り

◆ 資金運用利回り ▲ 資金調達利回り ● 資金粗利鞘



資金運用収支

(単位:億円)

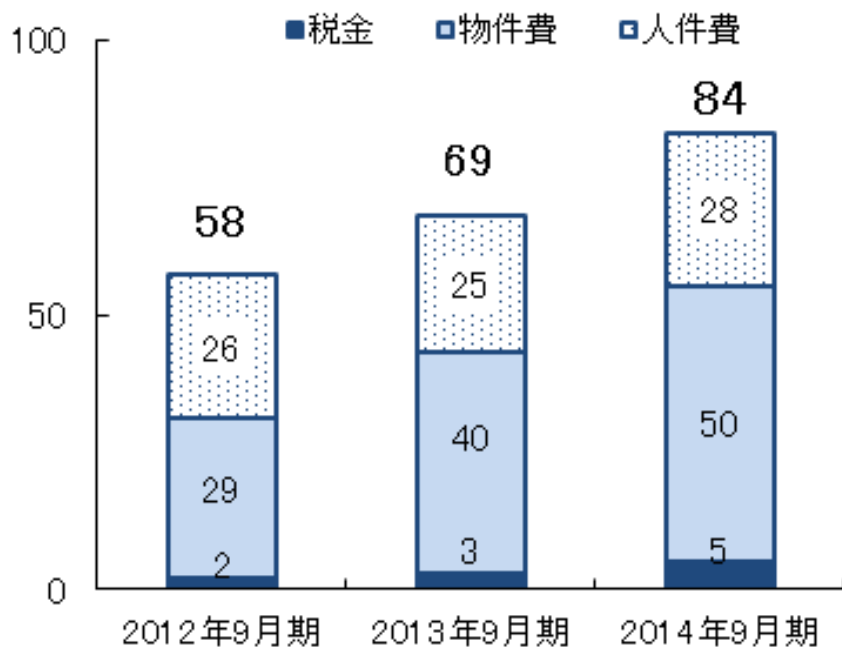


営業経費と経费率

■ カードローン事業の積極展開による広告宣伝費の先行投資により、経费率は上昇。

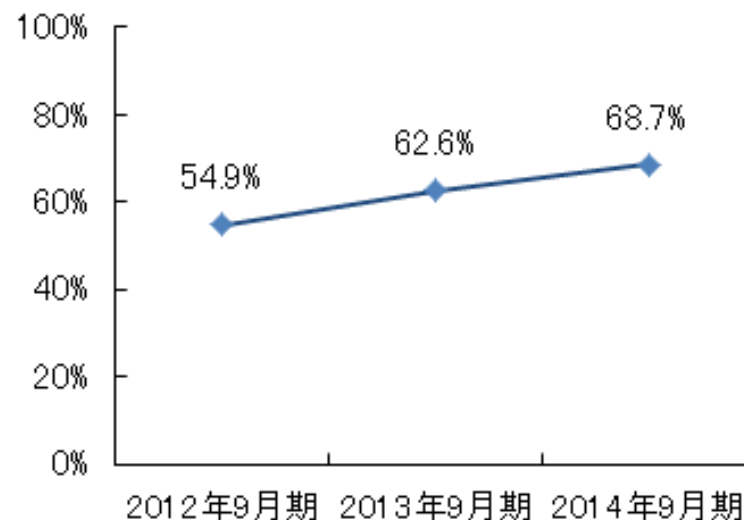
営業経費

(単位: 億円)



経费率

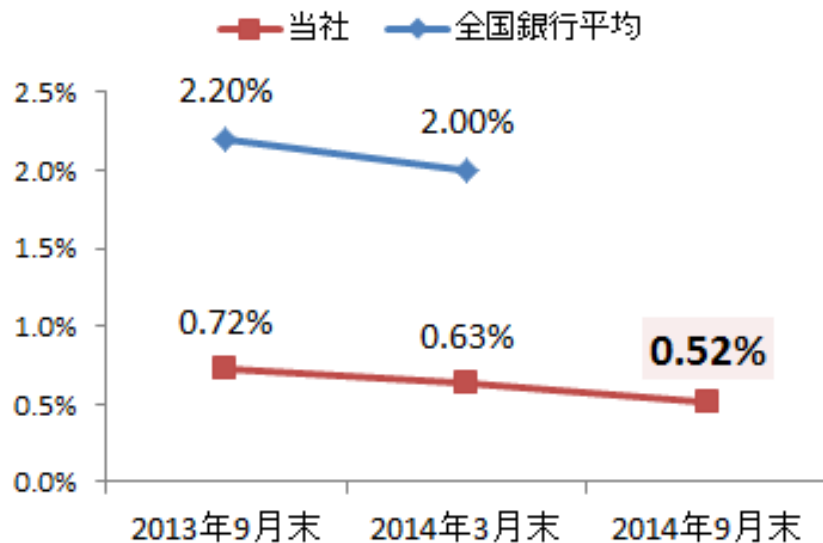
※経费率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益



リスク管理債権(不良債権)

- リスク管理債権比率は、引き続き低水準で低下傾向。

リスク管理債権比率



(全国銀行協会発行「全国銀行財務諸表分析」より)

■ リスク管理債権残高

(単位:億円)

	2013年9月末	2014年3月末	2014年9月末	前期末比
破綻先債権	0	0	1	0
延滞債権	56	54	46	△ 7
3か月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	15	13	10	△ 2
合計	71	67	58	△ 9

■ 金融再生法ベース開示債権

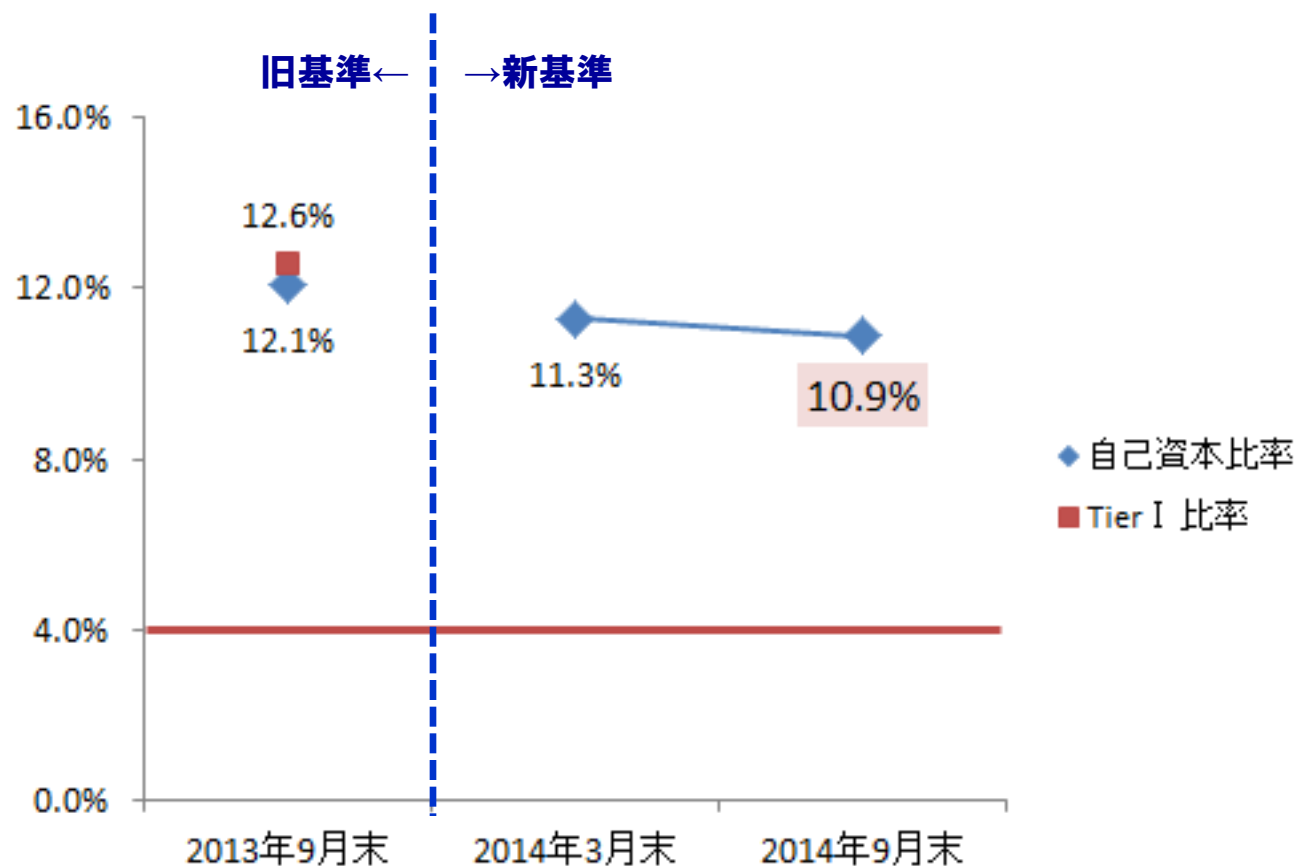
(単位:億円)

	2013年9月末	2014年3月末	2014年9月末	前期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15	14	9	△ 5
危険債権	41	40	39	△ 1
要管理債権	15	13	10	△ 2
正常債権	9,910	10,654	11,192	537
合計	9,983	10,723	11,252	528

上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

自己資本比率

- 自己資本比率は、高水準を維持。
- 2014年3月期より、新基準(バーゼルⅢ)を適用して計算。



会社概要 (2014年10月31日現在)

- 商号 オリックス銀行株式会社
(ORIX Bank Corporation)
- 本店所在地 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
- 代表取締役 潮 明夫
- 設立 1993年8月23日
- 資本金 450億円
- 株主 オリックス株式会社(100%)
- 従業員数 536名
- 長期格付 「A+」格付投資情報センター(R&I)、「A-」スタンダード&プアーズ(S&P)
- 所在地
 - 本店 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
 - セゾン出張所 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
 - 大阪オフィス 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル
 - 福岡オフィス 福岡県福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル
 - 立川オフィス 東京都立川市曙町2-22-20 立川センタービル
 - 沖縄出張所 沖縄県那覇市おもろまち1-1-12 那覇新都心センタービル
(コールセンター)